

授業科目	*看護過程論				単位	2		
履修	必修	関連資格	高一種免(看護) 養教一種免		ナンバリング	NU11207J		
開講年次	2	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP4-1 DP4-2 DP5-1			
担当教員	梶原 江美、隅田 由加里、金山 正子、長崎 恵美子、中島 紀江							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>健康上の問題や障害をもつ人々の生活上のニーズや健康上の課題、強みを明らかにし、健康上の課題解決に向けた看護実践に必要な看護過程の基本的な知識と方法を学修する。授業は、講義および事例を用いたグループ学習活動を軸に展開する。</p> <p>実務家教員として医療現場で各健康段階に応じた看護実践の経験を踏まえて、基本的な看護過程の展開方法の修得を目指して講義・演習する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>学生が達成すべき行動目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護過程の展開(アセスメント・問題の明確化・計画立案・実施・評価)に必要な基礎的知識を習得することができる。</li> <li>2. 科学的根拠に基づく看護(=EBN)を提供することの意義と必要性が理解でき、看護過程を展開しようとする姿勢を身につけている。</li> <li>3. 看護を考える上で必要な情報を整理し、既習の知識を用いてアセスメントすることができる。</li> <li>4. 人間を全人的に捉える必要性を理解し、看護上の問題を列挙することができる。</li> <li>5. 看護上の問題解決に向けた計画を立案することができる。</li> <li>6. 計画を基に対象者のニーズの充足に向けた看護実践の重要性を理解し、看護過程の一連のプロセスを展開することができる。</li> <li>7. 協同を学ぶ機会として、授業(講義・グループワーク・ロールプレイングなど)に主体的・積極的に取り組むことができる。</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	50	0	20	15	10	5	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	30						30	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	20		20		10		50	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)				5		5	10	
態度(DP4-2)				5			5	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)				5			5	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
【知識・理解】 1.看護過程の定義について、自身の言葉で説明(または記述)することができる。				【知識・理解】 1.看護過程の定義を述べることができる。 2.看護過程の背景(歴史的発展・理論的背景)について、概要を説明できる。				

<p>2.看護過程の背景(歴史的発展・理論的背景)について、明確に説明(または記述)することができる。</p> <p>3.看護過程を用いることの意義と重要性について、既習の知識に基づく自己の考えを述べる(または記述する)ことができる。</p> <p>4.看護過程の構成要素(アセスメント・看護問題の明確化/看護診断・計画立案・実施・評価)と看護過程のプロセスについて述べる(または記述する)ことができる。</p> <p>5.アセスメント・ツール:M.ゴードンが示す「11の機能的健康パターン」について、各パターンの定義、望ましい状態、アセスメント視点及びそれぞれに予想される看護問題を挙げるができる。</p> <p>6.アセスメントツールを活用し、収集した情報を適切に分類・整理する意味と必要性が説明できる。</p> <p><b>【思考・判断】</b></p> <p>1.M.ゴードンの「11の機能的健康パターン」に沿って、情報を整理し、既習の知識・理論に基づく情報の分析(解釈・判断)をすることができる。</p> <p>2.全パターンのアセスメントを基に、全体像を描き、事例患者の看護問題を的確に導き出すことができる。</p> <p>3.導き出した看護問題の原因・要因と成り行きを考え、観察、援助、教育の観点から、問題解決に必要な援助を思考できる。</p> <p><b>【態度/関心・意欲】</b></p> <p>1.授業(講義・GW・ロールプレイング)に積極的・主体的に参加する姿勢・態度を身につけている。</p> <p>2.根拠に基づく看護(EBN)を実践しようとする姿勢・態度を身につけている。</p> <p>3.自己の考えやプランを他者に的確に発信する力、伝達する力を身につけている。</p> <p><b>【技能・表現】</b></p> <p>1.的確な看護アセスメント(情報収集・情報分析・看護上の問題の明確化/看護診断)ができる。</p> <p>2.問題解決のための看護計画が適切に立案できる。</p> <p>3.事例を用いたグループ学習をとおして、問題解決的思考を基盤とする基本的な看護過程が展開できる。</p>	<p>3.看護過程を用いることの意義と重要性について概ね説明できる。</p> <p>4.看護過程の構成要素(アセスメント・看護問題の明確化/看護診断・計画立案・実施・評価)と看護過程の一連のプロセスが概ね説明できる。</p> <p>5.アセスメント・ツール:M.ゴードンの「11の機能的健康パターン」が示している視点について概略を述べるができる。</p> <p><b>【思考・判断】</b></p> <p>1.M.ゴードンの「11の機能的健康パターン」に沿って、概ね情報を整理し、既習の知識を用いて情報の分析(解釈・判断)をすることができる。</p> <p>2.事例患者のアセスメントが概ね記述でき、全体像を概観して看護問題を導き出すことができる。</p> <p>3.導き出した看護問題を引き起こしている原因・要因を明らかにし、その解決に必要な援助を根拠(理由)とともに述べることができる。</p> <p><b>【態度/関心・意欲】</b></p> <p>1.授業(講義・GW・ロールプレイング)に積極的に参加しようとする姿勢・態度が窺える。</p> <p>2.根拠に基づく看護(EBN)を実践しようとする姿勢・態度が窺える。</p> <p><b>【技能・表現】</b></p> <p>1.看護アセスメント(情報収集・情報分析・看護上の問題の明確化/看護診断)が概ねできる。</p> <p>2.問題解決のための看護計画が概ね立案できる。</p> <p>3.事例を用いたグループ学習をとおして、問題解決的思考を基盤とする看護過程の基本的な展開方法が概ね習得できている。</p>
--	---

## 授業計画

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	<p><b>【本科目のガイダンス】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループワーク(GW)について</li> <li>・関連図の書き方</li> <li>・電子カルテの使い方</li> </ul> <p><b>【看護過程の概説】</b></p> <p>[講義:梶原江美]</p>	講義	<p>[予習]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学習課題</li> </ul> <p>[復習]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学習課題を踏まえて病態関連図を書く</li> <li>・電子カルテの確認</li> </ul>	90分 10-15分
2	<p>看護過程の展開【アセスメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・M.ゴードン「11の機能的健康パターン」を中心に、アセスメント・ツールの概要説明</li> <li>・「11の機能的健康パターン」;各パターンの意味とアセスメントの視点について解説</li> </ul> <p>[講義:梶原江美]</p>	講義	<p>[復習]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者のイメージ化を図る</li> <li>・各自、実習でも活用できるようなアセスメントガイドを作成に取り掛かる</li> </ul>	90分
3	<p>看護過程の展開【アセスメント(栄養-代謝)】</p> <p>個人課題を基に、事例の看護問題の明確化を目指して、グループ学習を展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・M.ゴードンの「11の機能的健康パターン」に基づいて、事例患者の情報を分類・整理する。</li> <li>・整理した情報を基に分析(解釈・判断)する。</li> </ul>	グループワーク	<p>[予習]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事例患者の「栄養-代謝パターン」について、整理された情報を理解し、関連する事例患者の情報を分析(解釈・判断)する。</li> </ul>	90分

	[GW:梶原 /金山(橋本) / 隅田 / 長崎 / 中島]			
4	看護過程の展開【アセスメント(栄養-代謝)】 個人課題を基に、事例の看護問題の明確化を目指して、グループ学習を展開する。 ・M.ゴードンの「11の機能的健康パターン」に基づいて、事例患者の情報を分類・整理する。 ・整理した情報を基に分析(解釈・判断)する。 [GW:梶原(橋本) /金山 / 隅田 / 長崎 / 中島]	グループワーク 講義	[復習] ・「栄養-代謝パターン」の分析を追加する。 ・アセスメントガイドに「栄養-代謝パターン」を分析するうえで有用な情報を追加する。	90分
5	看護過程の展開【アセスメント(排泄)】 個人課題を基に、事例の看護問題の明確化を目指して、グループ学習を展開する。 ・M.ゴードンの「11の機能的健康パターン」に基づいて、事例患者の情報を分類・整理する。 ・整理した情報を基に分析(解釈・判断)する。 [GW:梶原 /金山(橋本) / 隅田 / 長崎 / 中島]	グループワーク	[予習] ・事例患者の「排泄パターン」について、情報を整理し、関連する事例患者の情報を分析(解釈・判断)する。	90分
6	看護過程の展開【アセスメント(活動-運動)】 個人課題を基に、事例の看護問題の明確化を目指して、グループ学習を展開する。 ・M.ゴードンの「11の機能的健康パターン」に基づいて、事例患者の情報を分類・整理する。 ・整理した情報を基に分析(解釈・判断)する。 [GW:梶原 /金山(橋本) / 隅田 / 長崎 / 中島]	グループワーク	[復習] ・「排泄パターン」の分析を追加する。 ・アセスメントガイドに「排泄パターン」を分析するうえで有用な情報を追加する。	90分
7	看護過程の展開【アセスメント(活動-運動)】 個人課題を基に、事例の看護問題の明確化を目指して、グループ学習を展開する。 ・M.ゴードンの「11の機能的健康パターン」に基づいて、事例患者の情報を分類・整理する。 ・整理した情報を基に分析(解釈・判断)する。 [GW:梶原 /金山(橋本) / 隅田 / 長崎 / 中島]	グループワーク 講義	[予習] ・事例患者の「活動-運動パターン」について、情報を整理し、関連する事例患者の情報を分析(解釈・判断)する。	90分
8	看護過程の展開【アセスメント(活動-運動)】 個人課題を基に、事例の看護問題の明確化を目指して、グループ学習を展開する。 ・M.ゴードンの「11の機能的健康パターン」に基づいて、事例患者の情報を分類・整理する。 ・整理した情報を基に分析(解釈・判断)する。 [GW:梶原 /金山(橋本) / 隅田 / 長崎 / 中島]	グループワーク 講義	[復習] ・「活動-運動パターン」の分析を追加する。 ・アセスメントガイドに「活動-運動パターン」を分析するうえで有用な情報を追加する。	60分 90分
9	看護過程の展開【アセスメント(休息-睡眠)】 個人課題を基に、事例の看護問題の明確化を目指して、グループ学習を展開する。 ・M.ゴードンの「11の機能的健康パターン」に基づいて、事例患者の情報を分類・整理する。 ・整理した情報を基に分析(解釈・判断)する。 [GW:梶原 /金山(橋本) / 隅田 / 長崎 / 中島]	グループワーク 講義	[予習] ・事例患者の「休息-睡眠パターン」について、情報を整理し、関連する事例患者の情報を分析(解釈・判断)する。 ・事例患者の「認知-知覚パターン」について、情報を整理し、関連する事例患者の情報を分析(解釈・判断)する。	90分
10	看護過程の展開【アセスメント(認知-知覚)】 個人課題を基に、事例の看護問題の明確化を目指して、グループ学習を展開する。 ・M.ゴードンの「11の機能的健康パターン」に基づいて、事例患者の情報を分類・整理する。 ・整理した情報を基に分析(解釈・判断)する。 [GW:梶原 /金山(橋本) / 隅田 / 長崎 / 中島]	グループワーク 講義	[復習] ・「休息-睡眠パターン」「認知-知覚パターン」の分析を追加する。 ・アセスメントガイドに「休息-睡眠パターン」「認知-知覚パターン」を分析するうえで有用な情報を追加する。	60分 90分

11	看護過程の展開【アセスメント(価値-信念)】 事例の看護問題の明確化を目指して、グループ学習を展開する。 ・M.ゴードンの「11の機能的健康パターン」に基づいて、事例患者の情報を分類・整理する。 ・整理した情報を基に分析(解釈・判断)する。 [GW:梶原 / 金山(橋本) / 隅田 / 長崎 / 中島]	グループワーク 講義	[予習] ・事例患者の「価値-信念パターン」について、情報を整理し、関連する事例患者の情報を分析(解釈・判断)する。 ・事例患者の「生-生殖パターン」について、情報を整理し、関連する事例患者の情報を分析(解釈・判断)する。	90分
12	看護過程の展開【アセスメント(セクシャリティー-生殖)】 事例の看護問題の明確化を目指して、グループ学習を展開する。 ・M.ゴードンの「11の機能的健康パターン」に基づいて、事例患者の情報を分類・整理する。 ・整理した情報を基に分析(解釈・判断)する。 [GW:梶原 / 金山(橋本) / 隅田 / 長崎 / 中島]	講義	[復習] ・「価値-信念パターン」「セクシャリティー-生殖パターン」の分析を追加する。 ・アセスメントガイドに「価値-信念パターン」「生-生殖パターン」を分析するうえで有用な情報を追加する。	90分
13	看護過程の展開【アセスメント(自己知覚)】 個人課題を基に、事例の看護問題の明確化を目指して、グループ学習を展開する。 ・M.ゴードンの「11の機能的健康パターン」に基づいて、事例患者の情報を分類・整理する。 ・整理した情報を基に分析(解釈・判断)する。 [GW:梶原 / 金山(橋本) / 隅田 / 長崎 / 中島]	グループワーク	[予習] ・事例患者の「自己知覚パターン」について、情報を整理し、関連する事例患者の情報を分析(解釈・判断)する。	180分
14	看護過程の展開【アセスメント(自己知覚)】 個人課題を基に、事例の看護問題の明確化を目指して、グループ学習を展開する。 ・M.ゴードンの「11の機能的健康パターン」に基づいて、事例患者の情報を分類・整理する。 ・整理した情報を基に分析(解釈・判断)する。 [GW:梶原 / 金山(橋本) / 隅田 / 長崎 / 中島]	グループワーク 講義	[復習] ・「自己知覚パターン」の分析を追加する。 ・アセスメントガイドに「自己知覚-自己概念」を分析するうえで有用な情報を追加する。	180分
15	看護過程の展開【アセスメント(役割-関係)】 個人課題を基に、事例の看護問題の明確化を目指して、グループ学習を展開する。 ・M.ゴードンの「11の機能的健康パターン」に基づいて、事例患者の情報を分類・整理する。 ・整理した情報を基に分析(解釈・判断)する。 [GW:梶原 / 金山(橋本) / 隅田 / 長崎 / 中島]	グループワーク	[予習] ・事例患者の「役割-関係パターン」について、情報を整理し、関連する事例患者の情報を分析(解釈・判断)する。	90分
16	看護過程の展開【アセスメント(役割-関係)】 個人課題を基に、事例の看護問題の明確化を目指して、グループ学習を展開する。 ・M.ゴードンの「11の機能的健康パターン」に基づいて、事例患者の情報を分類・整理する。 ・整理した情報を基に分析(解釈・判断)する。 [GW:梶原 / 金山(橋本) / 隅田 / 長崎 / 中島]	グループワーク 講義	[復習] ・「役割-関係パターン」の分析を追加する。 ・アセスメントガイドに「役割-関係パターン」を分析するうえで有用な情報を追加する。	
17	看護過程の展開【アセスメント(コーピング-ストレス耐性)】 個人課題を基に、事例の看護問題の明確化を目指して、グループ学習を展開する。 ・M.ゴードンの「11の機能的健康パターン」に基づいて、事例患者の情報を分類・整理する。 ・整理した情報を基に分析(解釈・判断)する。 [GW:梶原 / 金山(橋本) / 隅田 / 長崎 / 中島]	グループワーク	[予習] ・事例患者の「コーピング-ストレス耐性パターン」について、情報を整理し、関連する事例患者の情報を分析(解釈・判断)する。	
18	看護過程の展開【アセスメント(コーピング-ストレス耐性)】	グループワーク 講義	[復習]	

	個人課題を基に、事例の看護問題の明確化を目指して、グループ学習を展開する。 ・M.ゴードンの「11の機能的健康パターン」に基づいて、事例患者の情報を分類・整理する。 ・整理した情報を基に分析(解釈・判断)する。 [GW:梶原 / 金山(橋本) / 隅田 / 長崎 / 中島]		・「コーピングストレス耐性パターン」の分析を追加する。 ・アセスメントガイドに「コーピングストレス耐性パターン」を分析するうえで有用な情報を追加する。	
19	看護過程の展開【アセスメント(健康知覚-健康管理)】 個人課題を基に、事例の看護問題の明確化を目指して、グループ学習を展開する。 ・M.ゴードンの「11の機能的健康パターン」に基づいて、事例患者の情報を分類・整理する。 ・整理した情報を基に分析(解釈・判断)する。 [GW:梶原 / 金山(橋本) / 隅田 / 長崎 / 中島]	グループワーク	[予習] ・事例患者の「健康知覚-健康管理パターン」について、情報を整理し、関連する事例患者の情報を分析(解釈・判断)する。	
20	看護過程の展開【アセスメント(健康知覚-健康管理)】 個人課題を基に、事例の看護問題の明確化を目指して、グループ学習を展開する。 ・M.ゴードンの「11の機能的健康パターン」に基づいて、事例患者の情報を分類・整理する。 ・整理した情報を基に分析(解釈・判断)する。 [GW:梶原 / 金山(橋本) / 隅田 / 長崎 / 中島]	グループワーク 講義	[復習] ・「健康知覚-健康管理パターン」の分析を追加する。 ・アセスメントガイドに「健康認識-健康管理パターン」を分析するうえで有用な情報を追加する。	
21	看護過程の展開【全体像と看護問題の明確化】 個人課題を基に、事例の看護問題の明確化を目指して、グループ学習を展開する。 ・病態関連図に患者情報やアセスメントを加筆しながら全体像を描き、看護上の問題を明確化する。 ・患者の概要について1000字程度で整理する。 [GW:梶原(橋本) / 金山 / 隅田 / 長崎 / 中島]	グループワーク	[予習] ・全体像を描いてくる ・看護上の問題を列挙する	
22	看護過程の展開【全体像と看護問題の明確化】 個人課題を基に、事例の看護問題の明確化を目指して、グループ学習を展開する。 ・病態関連図に患者情報やアセスメントを加筆しながら全体像を描き、看護上の問題を明確化する。 ・患者の概要について1000字程度で整理する。 [GW:梶原 / 金山(橋本) / 隅田 / 長崎 / 中島]	グループワーク 講義	[復習] ・全体像の加筆修正 ・看護上の問題を加筆修正	
23	看護過程の展開【プロブレムリスト】 導き出した看護問題を基に優先順位を付けたプロブレムリストを作成する [GW:梶原(橋本) / 金山 / 隅田 / 長崎 / 中島]	講義 グループワーク	[予習] ・優先順位を考慮し、プロブレムリストを作成する ・看護計画を作成する	
24	看護過程の展開【看護計画】 個人課題を基に、看護問題の解決に向けてグループ学習を展開する。 ・看護上の問題ごとに計画を立案する。 [GW:梶原(橋本) / 金山 / 隅田 / 長崎 / 中島]	講義 グループワーク	[復習] ・プロブレムリストの加筆修正 ・看護計画を加筆修正	
25	看護過程の展開【看護計画】 個人課題を基に、看護問題の解決に向けてグループ学習を展開する。 ・看護上の問題ごとに計画を立案する。 ・看護の実施に向けた準備を行う。 [GW:梶原 / 金山(橋本) / 隅田 / 長崎 / 中島]	講義 グループワーク	[予習] ・看護計画の加筆修正 ・本日の実習計画の作成	
26	看護過程の展開【看護計画】 個人課題を基に、看護問題の解決に向けてグループ学習を展開する。 ・看護上の問題ごとに計画を立案する。	グループワーク	[復習] ・本日の計画として実施する看護援助のシミュレーション	

	・看護の実施に向けた準備を行う。 [GW:梶原 /金山(橋本) / 隅田 / 長崎 / 中島]			
27	看護過程の展開【実施】 個人課題を基に、看護問題の解決に向けてグループ学習を展開する ・立案した計画の一部を看護を通して発表する。 [GW:梶原 /金山(橋本) / 隅田 / 長崎 / 中島]	演習	[予習] ・本日の計画として実施する看護援助のシミュレーション	
28	看護過程の展開【実施】 個人課題を基に、看護問題の解決に向けてグループ学習を展開する ・立案した計画の一部を看護を通して発表する。 [GW:梶原 /金山(橋本) / 隅田 / 長崎 / 中島]	演習	[復習] ・実施した看護援助の振り返り	
29	看護過程の展開【評価】 個人課題を基に、看護問題の解決に向けてグループ学習を展開する ・発表した看護を振り返り、計画の加筆修正を行う。 ・看護の評価を行う。 [GW:梶原 /金山(橋本) / 隅田 / 長崎 / 中島]	グループワーク	[予習] ・評価についての概略を確認	
30	看護過程の展開【まとめ】 [梶原江美]	講義	[復習] 看護過程の展開の整理	
理解に必要な予備知識や技能	看護師の思考過程であり、看護実践の方法論でもある看護過程の基本を学ぶ授業です。授業では「肺炎患者」の事例を用います。事前準備として看護形態機能学やヘルスアセスメント演習で学修した呼吸器に関する知識を十分復習しておいてください。			
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・系統看護学講座 専門分野基礎看護学 2 基礎看護学技術 1(医学書院)</li> <li>・リンダ J.カルペニート=モイエ著、黒江ゆり子監訳: 看護診断ハンドブック 第12版(医学書院)</li> </ul>			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新体系 看護学全書①② 基礎看護技術1・2 (メジカルフレンド社)</li> <li>・新体系 看護学全書準拠 基礎看護学まとめノート(メジカルフレンド社)</li> <li>・永田明、石川ふみよ監修(2020):「看護がみえる vol.4」(メディックメディア)</li> <li>・マージョリー・ゴードン著、上鶴重美訳(2009):「アセスメント覚書 ゴードン 機能的健康パターンと看護診断」(医学書院)</li> <li>・マージョリー・ゴードン著、松木光子他訳(1998):「看護診断/その過程と実践への応用 原著第3版」(医歯薬出版株式会社)</li> <li>・浅野浩一郎ほか著(2019):「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[2] 呼吸器(第15版)」(医学書院)</li> </ul> <p>上記以外については、必要時、その都度、紹介します。</p>			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<p>看護過程は、これまで各科目で学修した内容をつながりながら自分で思考を整理して根拠をもって看護の対象者に看護を実践する過程となります。最初は、とても難しく感じるものです。しかし、看護過程の一連のプロセスを経て、患者へ看護を提供できた時に一つの道筋で患者に向き合う看護の面白さを体感できるものもあります。そのことを見据えて、地道に学習に取り組んでくれることを期待します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回の授業概要、講義・グループワーク関係の資料、課題など、必要な記録類は Google classroom「看護過程論」のメインクラス(梶原)の「授業」にアップロードします。授業前日には、必ずメインクラスの「ストリーム」及び「授業」を確認し、必要な準備を整えてください。</li> <li>・基本的な約束として、個人ワーク(予習・復習)をして授業に臨んでください。グループワークは、個人ワークをして行うことを前提で進めます。</li> <li>・今後の学修(基礎看護学実習Ⅱ)を見据えて、実習で活用できる自分自身のアセスメントガイドを各自で作成してください。</li> </ul> <p>どのパターンにどのような情報が入るのか、検査値の意味と基準、解釈の一例など内容は各自で使いやすいように工夫してください。</p> <p>主体的・積極的な取り組みを期待しています。</p>			

達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	<p>筆記試験(50%)、個人学習/課題レポート(20%)、グループワーク成果発表(10%)、レポート外の提出物(アセスメントガイド)(15%)及び「その他」として 授業全般を通しての学習貢献度(5%)により総合的に評価します。</p> <p>課題レポートなどは、講義前後の予習・復習課題、事例展開課題に関するものが主となります。</p> <p>《課題に対するフィードバック》</p> <p>提出されたレポートは評価後、定期試験前までに返却します。また、必要時講義の中で解説を行います。</p>
--------------------------------	---

